

一般社団法人山口県医師会平成29年度第14回理事会

平成29年10月19日(木) 午後5時～午後6時35分

河村会長、吉本・濱本副会長、林専務理事、弘山・萬・加藤・藤本・今村・沖中常任理事、白澤・香田・中村・清水・船津・前川・山下理事、藤野・篠原・岡田監事

協議事項

1 平成29年度上半期事業実施報告について

各常任理事より、担当事業の上半期進捗状況と今後の予定について報告を行い、未実施事業及び各事業の懸案事項について協議を行った。

2 ホームページのリニューアル(案)について

第12回理事会で協議後に追加・修正をした主なページのレイアウト等について再協議を行い、承認された。各項目の詳細な掲載内容等は個別に確認作業を行い、平成30年1月に公開する予定。

3 「国民医療を守るための国民運動」の展開について

医療関係団体等40団体で構成する「国民医療推進協議会」の第13回総会において、「持続可能な社会保障制度の確立を求める国民の声を政府に届けること」を目的とした標記国民運動を展開していくことが承認された。日本医師会より、11月22日に開催される「国民医療を守るための総決起大会」への参加依頼及び各都道府県においての国民運動等展開の依頼があり、本会では、「県民の健康と医療を考える会」において、12月中に活動することが決定した。

報告事項

1 労災診療費算定実務研修会(9月21日)

労災診療費の請求漏れ等を防止し、適正かつ効率的な請求を期することを目的に、本会と(公財)労災保険情報センター等の共催により山口市で開催された。(萬)

2 個別指導「診療所」(9月28日)

診療所10機関について実施され立ち会った。(萬、清水、船津、前川)

3 第61回社会保険指導者講習会(10月4・5日)

日医と厚生労働省の共催により「脳血管障害診療のエッセンス」をテーマに開催され、本会から4名の担当役員が参加した。1日目は、横倉会長の挨拶に続き講演6題、2日目は、講演4題の後、厚生労働省の講演2題が行われた。(萬)

4 郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事及び関係者合同会議(10月5日)

関係団体から平成28年度の実施結果及び29年度の実施状況について報告の後、協議を行った。また、第3期(平成30～35年度)に向けた変更点、広域連合の健診項目の追加、次年度の標準単価等について報告が行われた。(藤本)

5 山口大学第 53 回学長選考会議（10 月 5 日）

山口大学長候補者選考の実施等について協議を行った。（今村）

6 第 1 回山口県准看護師試験委員会（10 月 5 日）

平成 29 年度の准看護師試験の実施（案）等の協議及び平成 28 年度の試験結果について報告が行われた。（沖中）

7 地域医療構想調整会議：検討部会「下関」（10 月 5 日）

第 1 回の回復期・慢性期専門部会が開催された。県医療政策課から、「平成 28 年度病床機能報告の結果」、「病床機能報告に係る課題」、不足する回復期機能を確保するための「医療機能分化連携推進事業」等について報告の後、意見交換が行われた。（弘山）

8 第 14 回指導医のための教育ワークショップ（10 月 7・8 日）

林 弘人チーフタスクフォース他 4 名のタスクフォースにより、一泊二日の合宿形式で開催した。参加者は 14 名。（加藤）

9 日医総研セミナー（10 月 7 日）

「生命倫理について—終末期を迎えるにあたって—」をテーマに開催された。(1) それぞれの終末期—臨床医からみたラストステージ（澤 倫太郎 日医総研研究部長）、(2) 最期の医療 決める、伝える（田中美穂 同主任研究員）、(3) 終末期医療の中止の許容性：わが国における関連裁判例の分析（前田正一 同客員研究員／慶應義塾大学大学院教授）の 3 講演と質疑応答が行われた。（中村）

10 勤務医部会座談会（10 月 8 日）

「研修指導医の本音と課題の対応」をテーマに、県内 6 病院 7 名の指導医において意見交換を行った。（中村）

11 第 1 回山口県高齢者医療懇話会（10 月 10 日）

山口県後期高齢者医療制度の状況及びデータからみた山口県後期高齢者の現状と保健事業について意見交換を行った。（萬）

12 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（10 月 11 日）

審査業務の集約に向けた実証テストの実施、審査関係訴訟事件等について報告が行われた。（河村）

13 日医第 6 回社会保険診療報酬検討委員会（10 月 11 日）

「次期（平成 30 年度）診療報酬改定に対する要望書」の報告及び諮問②答申「入院外における基本診療料のあり方」について審議を行った。（萬）

14 宇部興産中央病院新棟竣工式・祝賀会（10 月 12 日）

救急センター、脳疾患治療センター、手術室を核とした新棟が竣工したことから、祝賀会に出席した。（河村）

15 男女共同参画・女性医師部会地域連携会議（10月14日）

本会男女共同参画部会のワーキンググループの活動報告、各郡市女性医師部会の現状報告を行い、その後、意見交換を行った。また、本会が今年度新たに設置した「男女共同参画推進事業助成金」の積極的活用を依頼した。（今村、前川）

16 男女共同参画部会第2回理事会（10月14日）

今年度の総会を平成30年3月11日（日）に開催し、終了後に特別講演「まだまだ知られていない臨床法医学の仕事」、特別企画「子どもをみまもる現場より」を行うことが決定した。その後、ワーキンググループの活動状況の報告が行われた。（前川）

17 獣医学術中国地区学会歓迎交流会（10月14日）

中国5県獣医師会の輪番制により、本年度は山口県担当で標記学会が開催された。歓迎交流会で祝辞を述べた。（河村）

18 県民の健康と医療を考える会：県民公開講座（10月15日）

「超高齢社会をどう生きる！～笑う門には福来たる～」をテーマに開催された。講演1は、医師で落語家である安部正之先生（春雨や落雷 師匠）による江戸古典落語と健康講話「笑って健康 “笑いと免疫力そして・・・健康”」、講演2では、田布施町在住のスーパーアスリート長岡三重子さんによる「私は103歳、世界最高齢の現役スイマー～何歳になっても元気ハツラツ～」が行われた。（今村）

19 日本医師会医療安全推進者養成講座講習会（10月15日）

「医療機関のガバナンスと医療安全」（新星総合法律事務所弁護士／一橋大学客員教授 児玉安司先生）、「第三者が加わる院内事故調査と医療の質の評価」（奈良県総合医療センター 上田裕一 総長）、「医療事故の再発防止に向けた提言」（医療法人財団順和会山王メディカルセンター血管病センター長 宮田哲郎 先生）の講習及び総合討論が行われた。（林）

20 「知って、肝炎プロジェクト」杉良太郎、EXILE ATSUSHI 両氏の知事表敬訪問

（10月17日）

厚生労働省の肝炎総合対策推進国民運動である「知って、肝炎プロジェクト」の特別参与 杉良太郎 氏及びスペシャルサポーター EXILE ATSUSHI 氏が山口県庁を訪問し、啓発活動を行った。（河村）

21 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会（10月18日）

在宅で療養する医療的ケア児が増加する中、地域包括ケアシステムにおける受け入れ体制の充実を図る必要があることから、小児在宅ケアを巡る諸問題について協議するため初めて開催された。小児在宅ケアを巡る現状と課題、厚生労働省の対応、医師会の取組みについて報告の後、協議を行った。（弘山）

22 山口大学COC+事業に係る外部評価委員会（10月18日）

標記事業における、平成28年度実績の評価について協議が行われた。（今村）